

## ■効果の見える海岸事業

### 徳島県 鳴門海岸の侵食対策

海岸侵食対策事業により平成18年度人工リーフ完成

徳島県河川課長 石井良直



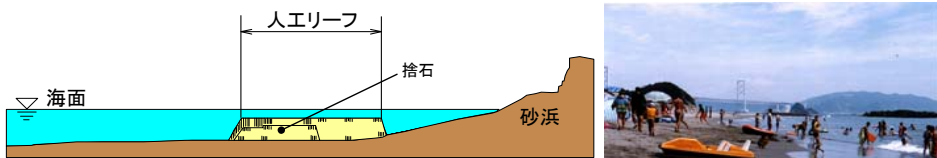
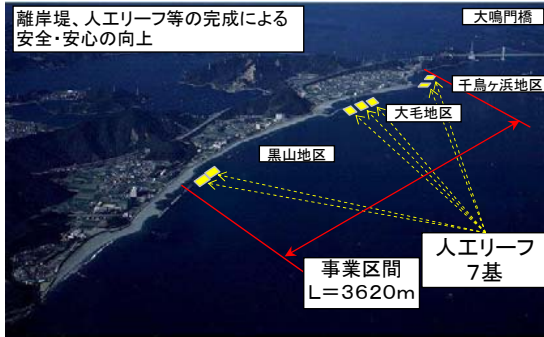
○事業概要 鳴門海岸は、鳴門市北端の鳴門海峡に隣接し、瀬戸内海国立公園に属する風光明媚な景勝地となっております。

当海岸は昭和30年代後半から侵食により汀線の後退が進んだため、昭和47年度から離岸堤や突堤の整備を実施してきました。しかし、沖合施設の未施工箇所においては近年の侵食が特に著しいため、砂浜の回復と安定を図り、背後地の安全を確保するために景観にも配慮した人工リーフによる整備を進めてきました。

海辺は、多種多様な生物が生息する場であるとともに、人々の生活の場でもあります。本事業による離岸堤、人工リーフ等の完成で、海岸の侵食を防止し背後地の安全・安心が高まるとともに貴重な海辺空間が保全され、今後、当海岸の利活用や観光の更なる促進、鳴門ワカメや鳴門金時（さつまいも）を中心とする農水産業の発展等、地域の活性化につながるものと期待しております。

- 施行箇所 鳴門市鳴門町土佐泊浦
- 施行期間 昭和47年度～
- 施行内容 離岸堤 1,029m  
人工リーフ 7基 等

**【人工リーフ】**  
海岸侵食を防止、軽減及び海浜の安定を図ることを目的に、沖合に設置される天端高が海面より低い海岸保全施設です。捨石等の材料を用いた没水構造物で、景観を損なうことなく漂砂を制御し汀線を維持、回復する機能を有しています。(下図参照)



波浪による越波(黒山地区)



【黒山地区】

## 鳴門市 鳴門海岸の環境保全

豊かな自然環境に支えられた観光活性化・自然環境の保全

鳴門市長 吉田 忠志



鳴門海岸一体は、海を背景とした景観と自然環境に恵まれた瀬戸内海国立公園に属する「美しい自然環境を守り活かす環境」と「観光」が調和している地域です。

鳴門公園、千鳥ヶ浜、大毛海岸、海岸線（県道公園線）に続く砂浜や、竜宮の磯、夫婦岩等の岩礁地帯など変化に富む海浜環境があり、白砂の風光明媚な海岸で、夏は海水浴やサーフィン等、海浜レクリエーションの拠点となっています。

自然に恵まれた特産品もたくさんあり、鳴門鯛、鳴門わかめ、なると金時、らっきょうなど自然の食材も豊富で、その味は正に絶品です。

鳴門海岸一帯は観光関連の施設も多く、鳴門公園、渦の道、大塚国際美術館は、市内でもっとも多く観光客の訪れる場所となっています。

また、「渦潮」は鳴門の象徴であり重要な観光資源となっています。鳴門海岸については、管理者である徳島県が主体となって、海岸侵食対策事業を実施していただいたことにより、砂浜の回復と安定及び背後地の安全がはかられ、生活や憩いの場として、観光の創出の場として一層の期待が膨らんでいます。

このような自然環境と観光が調和した鳴門海岸一帯のすばらしい環境を将来世代に引き継いでいくために、本市では、21世紀半ば50年先という長期的展望のもと、環境施策を総合的、計画的に進めるためのよりどころとして、「鳴門市環境基本計画」を策定し、自然や環境にやさしいまちづくりを推進しているところでございます。

具体的な取り組みとしまして、鳴門海岸一帯は、瀬戸内海国立公園内に位置することから「瀬戸内海環境保全特別措置法」「瀬戸内海環境保全基本計画」に基づく景観保全を国や県との連携をはかりながら進めるとともに、海辺の自然に触れ、生きものの生息環境を保全し、美しい景観を守るために海辺の生態系、環境空間の保全・再生をはかります。

また、沿岸域における漂着ごみや投棄ごみの市民参加による清掃活動の推進や、関連地域（瀬戸内海隣接自治体・各種関連団体等）との連携をはかることによって、ごみのない美しい海岸づくりを進め海辺に親しめる環境の確保に努めます。

今後ともこの鳴門の海が、いつまでも青く輝き、恵み豊かな美しい海でありつづけるよう、その空間的・質的な環境の保全と再生を基本に、持続的利用をはかり、「安全で美しい」鳴門海岸を次世代へ承継し、自然や環境にやさしいまちづくりを推進してまいりたいと考えています。



名勝・鳴門  
渦潮は全国的な名所であり、鳴門公園には多くの観光客が訪れる。

